

## 「APC FC」の活動報告

北海道センターの茶碗谷先生から紹介を受けた大阪センター関西職業能力開発促進センターの北崎です。茶碗谷先生は学生時代の仲間で、北海道出身の彼のもとには、実家からラム肉が送られてきており、ジギスカンパーティーを開いたことが懐かしく思い出されます。

私は現在、大阪センターに勤務していますが、この原稿の執筆時点では、千葉・幕張の高度職業能力開発促進センター（以下、高度センター）に勤務しています。今回は思い出の一つである高度センター親睦会公認のフットサルクラブ「APC FC（エーピーシー エフシー）」の活動について紹介をします。（フットサルとは、5人制のミニサッカーのこと）

クラブの主な活動はシュウイチの練習とツキイチの試合です。近隣のフットサル場が大会を主催しており、私たちのランクは「ウルトラビギナー」です。これは文字どおり「超初心者」で、これより下の大会はありません。大会には学生チームも参加するので、平均年齢30歳超の「APC FC」にはこのランクでも辛いのが現実です。

3月21日の大会は12チームが参加し、予選リーグ戦と順位決定戦の合計4試合を行いました。全員の活躍を紹介したいところですが、紙面の都合上、私・北崎が絡むプレーについて振り返りたいと思います。ちなみに、選手名の後の（ ）は背番号です。

<第1試合：2-0で勝利>左サイドから田熊選手（33）がセンタリングを上げたところに北崎選手（0）が飛び込んでポスト左隅に強烈なシュート!!。ゴール!ゴール!。先取点先制です。

<第2試合：1-2で敗退>

<第3試合：0-3で敗退（準決勝）>

予選リーグを1位で通過し臨んだ試合でしたが、次は完敗でした。守備の要である川村選手（859）と攻撃



の要である森選手（11）が残念そうに俯いています。

<第4試合：4-2で勝利（3位決定戦）>

相手のアタリが強く倒され、フリーキックのチャンスを得ました。（実は乱闘寸前になりました）キッカーは北崎、ゴールまで4メートル、壁3枚です。キック。低い弾道が壁の右隅を抜けゴールを襲いますが、ポストにはね返され得点ならず!!惜しい!。しかし、ムードはオセオセの状態です。結局、私の名シーンはこの2回だけでしたが、全員の頑張りで第3位に食い込み、記念の写真撮影となりました。

今回、私はチームを去ることになりましたが、このチームはチームプレーの大切さを教えてくれました。チームワークは仕事にも生かされ、公私ともに充実した幕張ライフを送ることができました。

さて、次のリレートークは、東北職業能力開発大学の内山元先生です。私とは同期で、公私にわたるお付き合いをさせていただいています。本年4月から新任地に転勤となりました。それでは、よろしくお願ひします。